

(7) 平成27年度上期下水道事業の概況

ア 建設事業の状況

既成市街地の汚水事業では、江戸川左岸流域関連下水道事業について、今年度の整備予定面積約22ヘクタールに対し、整備面積ベースで約80パーセントの汚水管布設工事4件を発注した。また、手賀沼流域関連下水道事業は、整備予定面積約3ヘクタールに対し、整備面積ベースで約30パーセントの汚水管布設工事1件を発注した。

既成市街地の雨水事業では、向小金雨水幹線整備工事の工事延長142メートルのうち延長ベースで約80パーセントが終了している。

つくばエクスプレス沿線整備では、汚水及び雨水事業の土地区画整理事業者と施行委託を締結した。両事業の今年度整備予定面積は、汚水事業が68.6ヘクタール、雨水事業が32.7ヘクタールであり、9月末現在で整備予定の約60パーセントを発注した。引き続き地区内造成事業の進捗に合わせて整備を進める。

イ 業務の状況

当期の排水区域人口は、143,805人で、行政区域内人口と比較する普及率は、82.44パーセントとなっている。

ウ 経理の状況

上期における総収益は、1,518,894,040円（消費税抜き）、総費用は、995,890,923円（消費税抜き）となり、その結果、総収益から総費用を差し引いた当期の損益は、523,003,117円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が888,678,829円、営業外収益が630,215,211円となった。

次に、費用の内訳は、営業費用が759,605,581円、営業外費用が222,878,968円となった。